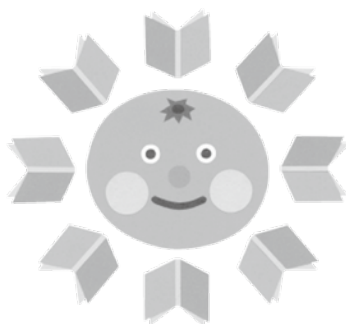


郡山城跡でスズムシ約 1 万匹を放虫

奈良県大和郡山市の郡山城跡で 8 月 28 日（火）、有田川町鈴虫愛好会の皆さまが育てたスズムシ約 1 万匹を寄贈、近くの郡山西保育園児が放虫しました。町観光大使を務める山口智世さんが、大和郡山市でも観光 PR 大使を勤めている縁で実現。奈良県内での放虫は初めてです。また、大和郡山市からお礼として金魚 2,000 匹を寄贈賜り、10 月 21 日（日）に開催したとんどんまつりで展示しました。

このほか、8 月 30 日（木）には昨年に引き続き、今年で 4 回目となる和歌山城（和歌山市）での、スズムシ放虫が行われました。



EHON NO MACHI
ARIDAGAWA

絵本のまち
有田川

第 12 回高橋松之助記念 文字・活字文化推進大賞受賞

当町が行うまちづくりの取り組みの一つである「絵本のまち有田川」が、公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団主催「第 12 回高橋松之助記念『文字・活字文化推進大賞』」を受賞しました。この賞は、文字・活字文化振興法の理念にのっとり、読書推進と文字・活字文化振興に貢献し、顕著な業績をあげた学校や地方自治体・団体・個人を顕彰するものです。

受賞の理由は「絵本の可能性にかけ、『住んでいることを誇れる笑顔あふれる絵本のまちの実現』を目指して活動を続けている。『絵本』により住民の読書環境の整備や学習支援、地域振興まで視野に入れ、発展的に活動している点が評価された」ということです。なお、和歌山県内での同賞受賞は初めてとなります。



地方公務員が本当にすごい！と思う 地方公務員アワード 2018 受賞

環境衛生課長の中岡 浩が『地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード 2018』受賞者の 1 人に選出されました。

中岡氏は「年間約 5,000 万円を生み出すダムの維持放流水を活用した町営小水力発電所を誕生させた」「小水力発電開発の全国的な先例『有田川モデル』を確立し、太陽光発電や太陽熱利用への住民向け補助制度を整備、公共施設への太陽光発電設備設置を推進するなど、未開であった再生可能エネルギー分野をまちに根付かせた」などの点が高評価を受けたそうです。